

令和5年度 防府市の高齢者虐待の現状について

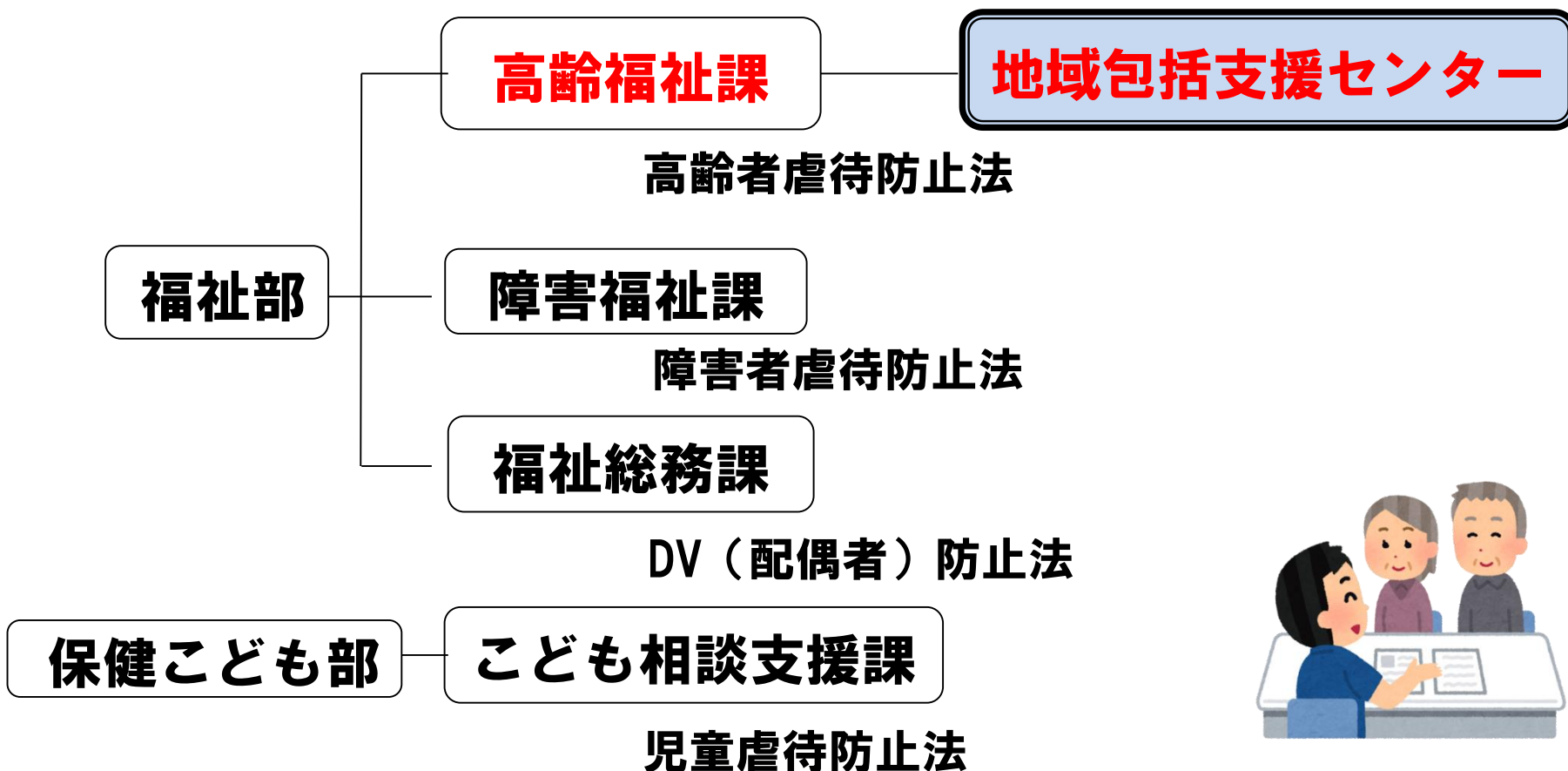
防府市（令和6年10月末現在）

人 口：113,302人
高齢者数：35,051人
高齢化率：30.9%



虐待・暴力に関する相談担当課

防府市役所



地域包括支援センター位置図

市内に
5つ

防府北地域包括支援センター

佐波、右田
玉祖、小野

防府東地域包括支援センター

牟礼、松崎
富海

防府南地域包括支援センター

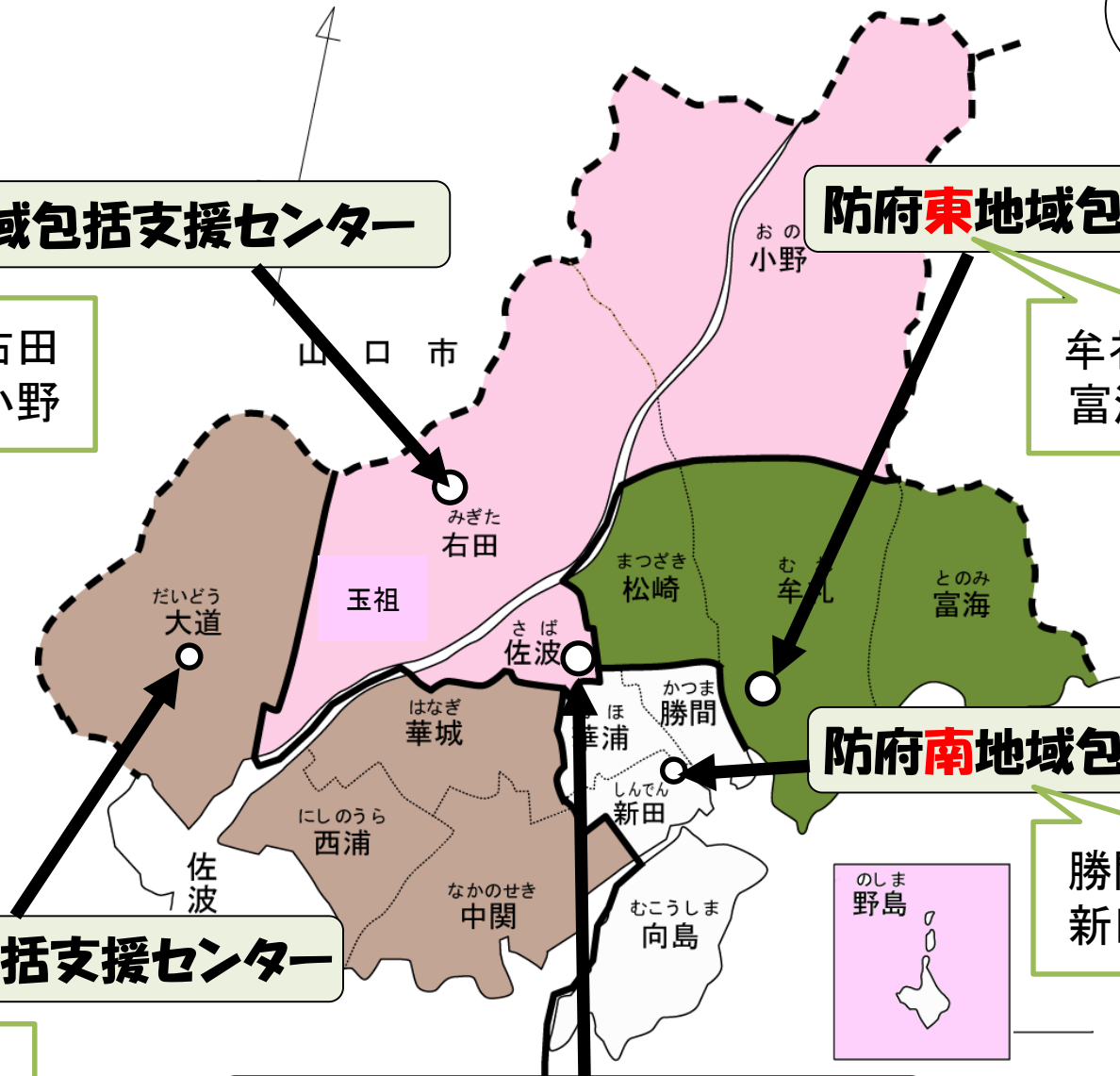
勝間、華浦
新田、向島

防府西地域包括支援センター

中関、華城
西浦、大道

防府市地域包括支援センター

野島



高齢者虐待とは

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（**高齢者虐待防止法**） 平成18年（2006年）4月1日施行

1 高齢者とは：65歳以上の者

ただし、65歳未満であっても養介護施設に入所し、養介護施設、養介護事業のサービスの提供を受ける障害者については、「高齢者」とみなす。

2 高齢者虐待には

- ①養護者による高齢者虐待
- ②養介護施設従事者等による高齢者虐待

高齢者が「養護者」や「養介護施設従事者等」から、不適切な行為や扱いによって権利・利益を侵害される状態や、生命、健康、生活が損なわれるような状態におかれること

虐待の種類

① 身体的虐待

暴力行為などで、身体に傷やあざ、痛みを与える行為、外部との接触を意図的・継続的に遮断する行為

【サイン】

- ☐ 顔や身体に傷やあざがある
- ☐ 傷やあざの説明のつじつまが合わない
- ☐ おびえた表情をしたり、急にこわがったりする
家族のいる場面、いない場面で態度が異なる
- ☐ 「怖いから家にいたくない」等の訴えがある
- ☐ 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることにためらう

虐待の種類

② 介護・世話の放棄、放任

介護や生活の世話を行っている者が、その提供を放棄または放任し、高齢者の生活環境や、高齢者自身の身体・精神的状態を悪化させていること

【サイン】

- ☐ 身体から異臭がする。汚れた衣服や破れた衣服を着ている。
- ☐ 住居が極めて不衛生。部屋に衣服やおむつ等が散乱
- ☐ 栄養失調の状態。適度な食事が準備されない
- ☐ 病気の症状が明らかなのに受診させていない
- ☐ 介護保険サービスの利用が必要であるが未利用、勧めても拒否、必要量が極端に不足している 等

虐待の種類

③ 心理的虐待

脅しや屈辱などの言語や威圧的な態度、無視、嫌がらせ等によって、精神的屈辱を与えること

【サイン】

- ☐ かきむしり、噛みつき、ゆすり等がみられる
- ☐ 悪夢をみたり、眠ることの恐怖を訴える
- ☐ おびえる、わめく、泣く、叫ぶ等の症状がみられる
- ☐ 自傷行為や摂食障害（過食、拒食）がみられる
- ☐ 無力感、あきらめ、投げやりな様子になる

虐待の種類

④ 性的虐待

本人への性的な行為の強要又は性的羞恥心を催すあらゆる形態の行為

【サイン】

- 不自然な歩行や座位を保つことが困難になる
- 生殖からの出血や傷、かゆみの訴えなどがある
- おびえた表情をする、怖がる、人目を避けたがる
- 関係者に話すことや援助をうけることをためらう等

虐待の種類

⑤ 経済的虐待

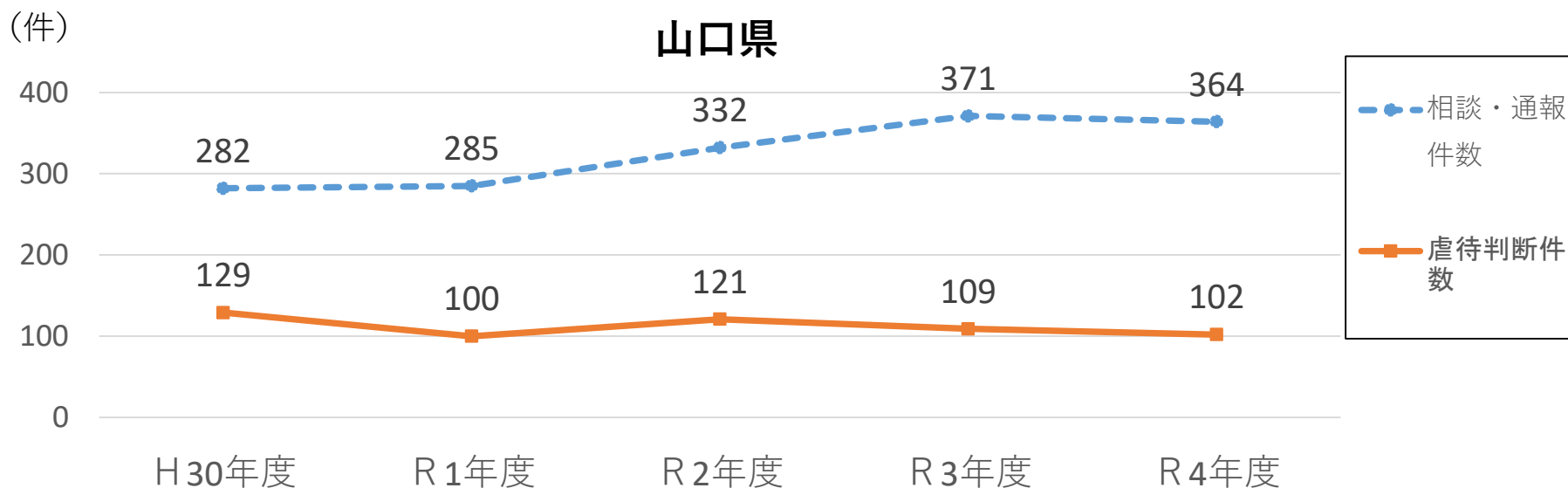
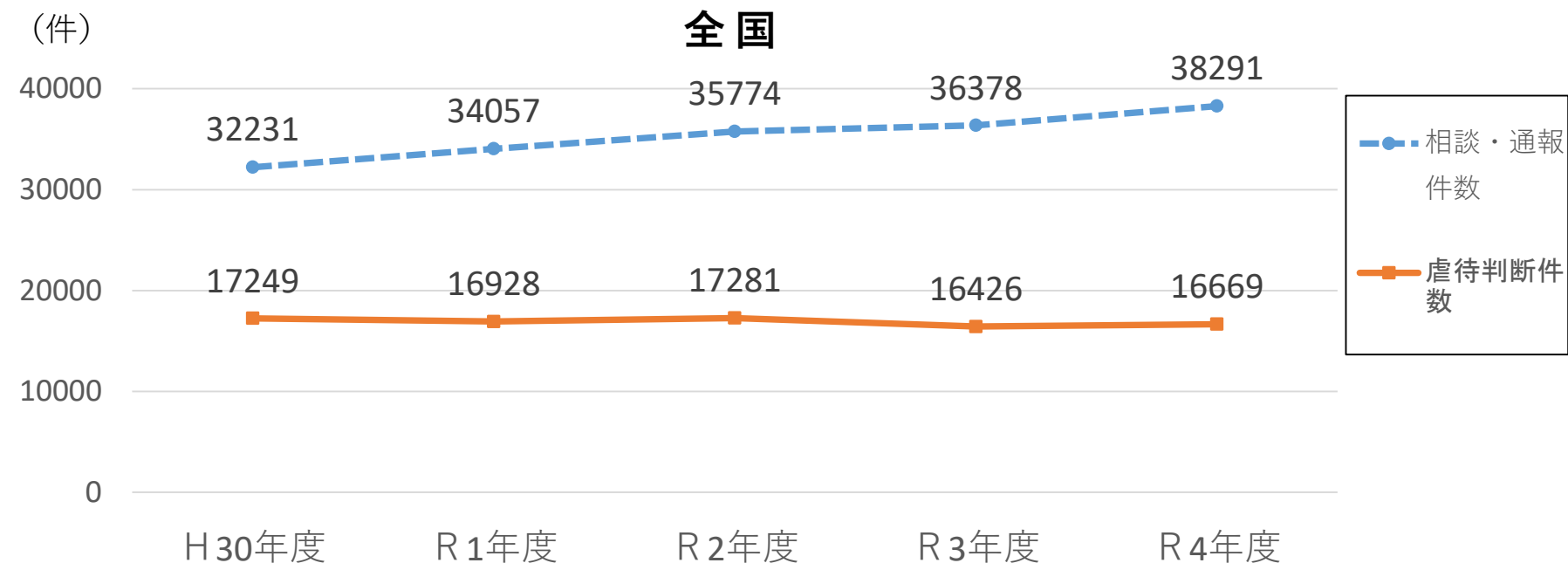
本人の合意なしに財産や金銭を本人以外のために使用する

本人の希望する金銭の使用を理由なく制限すること

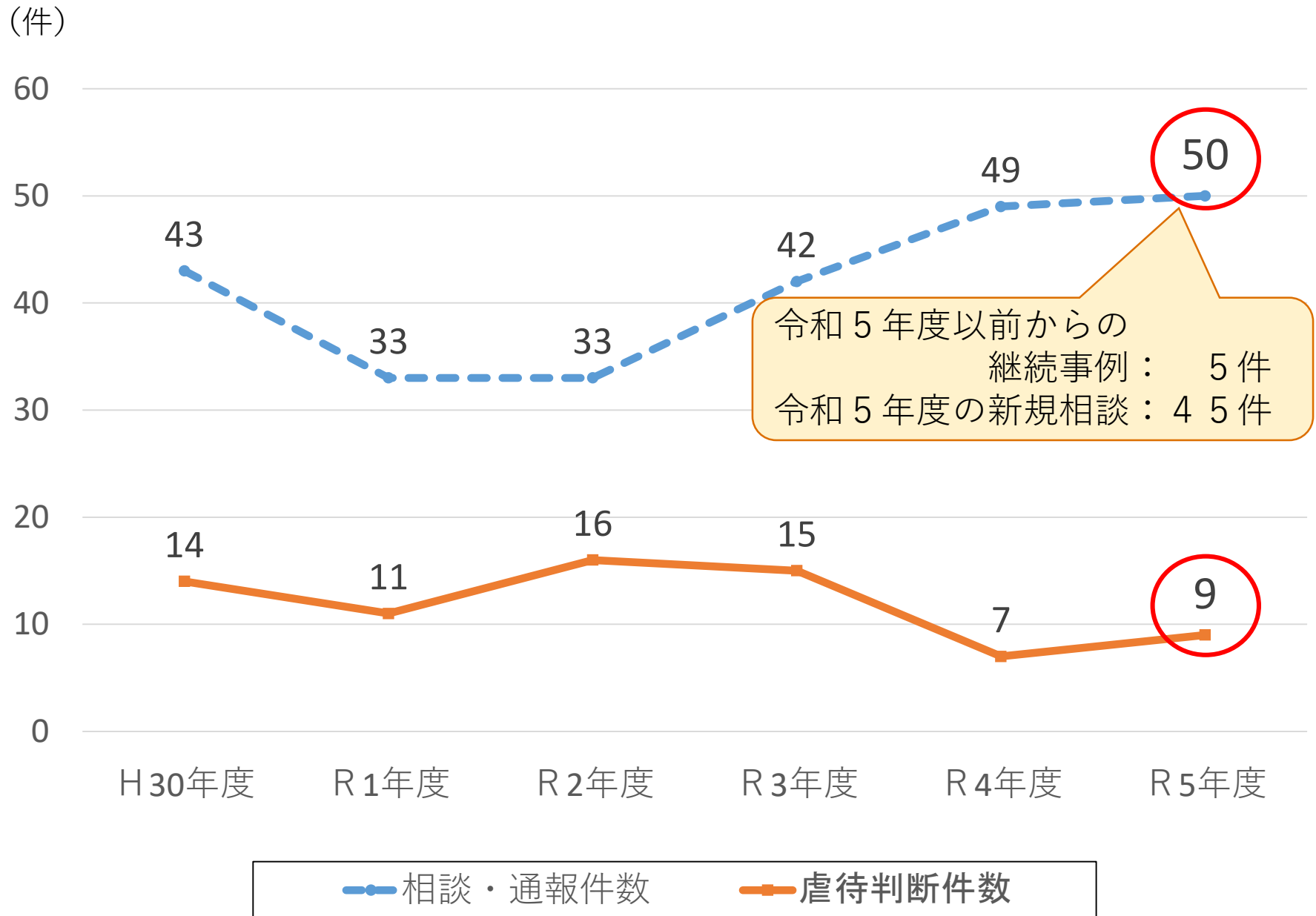
【サイン】

- ☐ 年金や財産収入があることが明白なのに、お金がないと訴える
- ☐ お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない
- ☐ 入院や受診・介護保険サービスなどの必要な費用を支払えなくなる、サービスの利用をためらう

高齢者虐待相談・認定件数の年次推移（全国・山口県）



防府市高齢者虐待相談・認定件数の年次推移



虐待の相談・通報者（R 5）

通報者	件数
介護支援専門員（ケアマネジャー）・ 介護保険事業所職員	11 ・ 6
医療機関従事者	2
近隣住民・知人	0
民生委員	0
被虐待者本人	1
家族・親族	4
虐待者自身	0
行政職員	4
警察	18
その他	3
合計	49

警察からの通報が
39%と最も多い

その他3件

- ・ 社会福祉協議会
- ・ 保健所保健師
- ・ 有料老人ホーム職員

R5年度 虐待の種類

※複数回答

(件)

7

6

5

4

3

2

1

0

**身体的虐待が最も多かった
※複数回答あり**

6

3

3

0

1

身体的虐待

介護等放棄

心理的虐待

性的虐待

経済的虐待

高齢者虐待の種類（R1～R5年度） ※複数回答

(件)

35

30

25

20

15

10

5

0

身体的虐待

介護等放棄

心理的虐待

性的虐待

経済的虐待

29

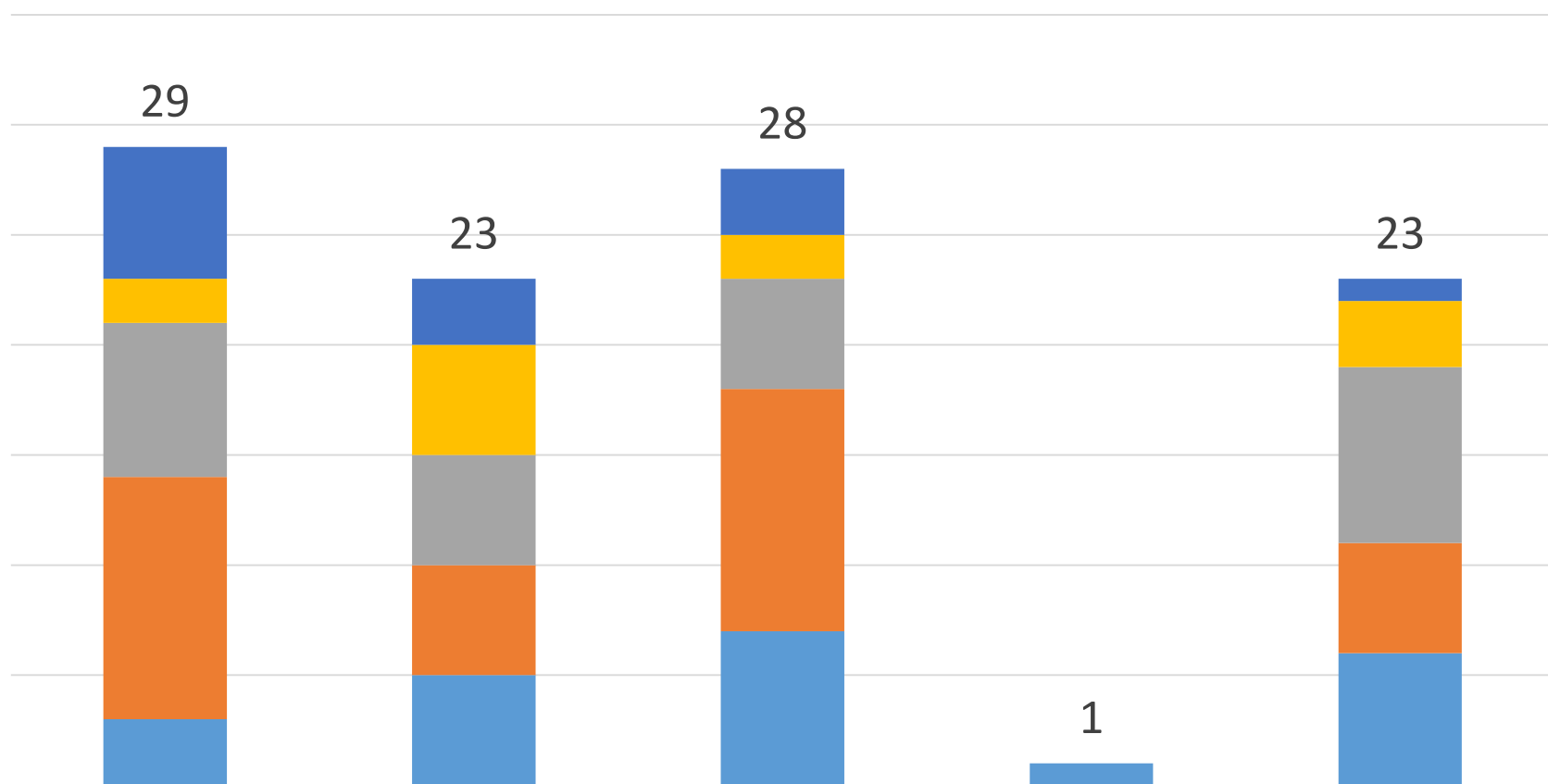
23

28

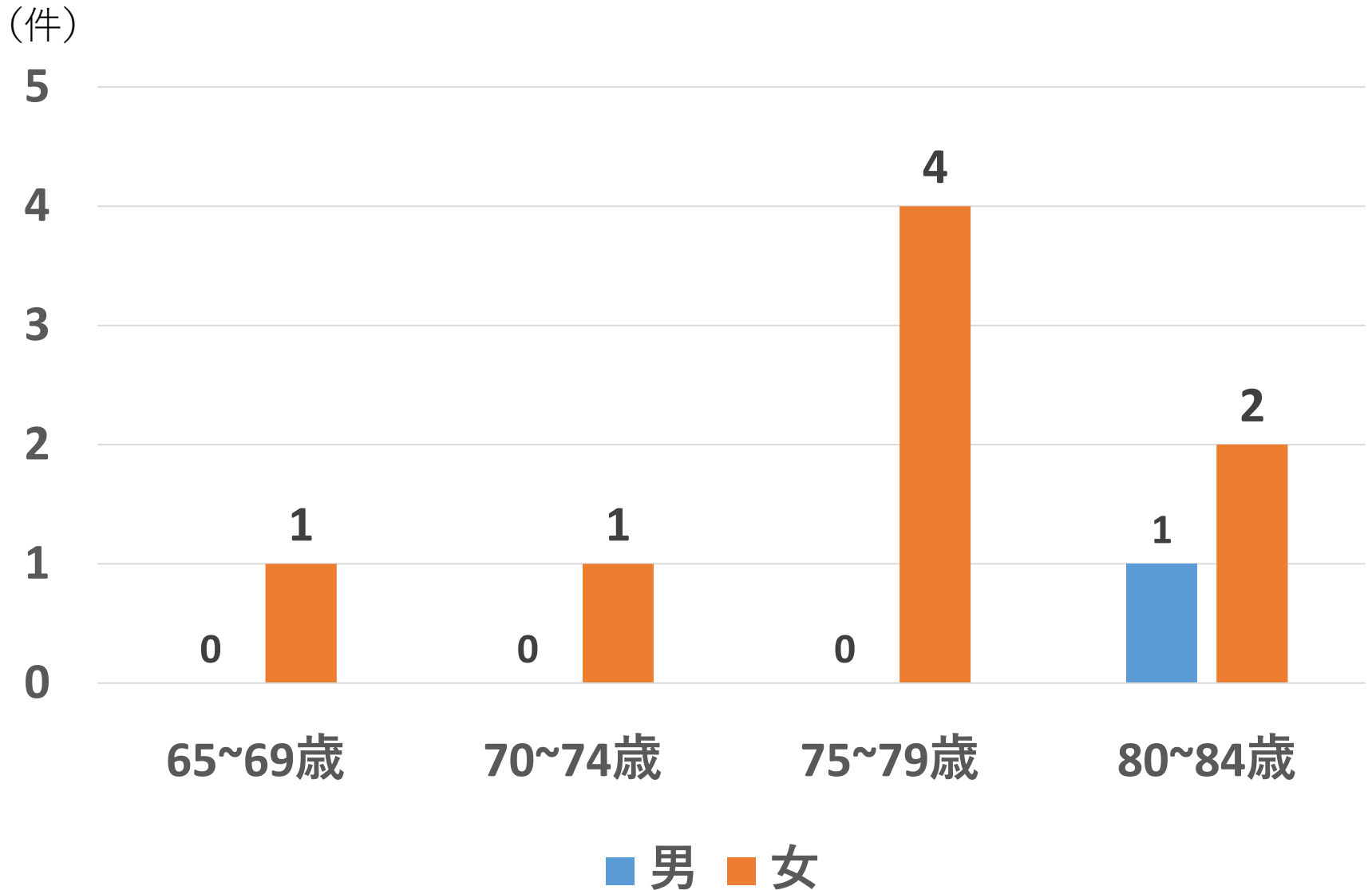
1

23

■ R1 ■ R2年 ■ R3 ■ R4 ■ R5

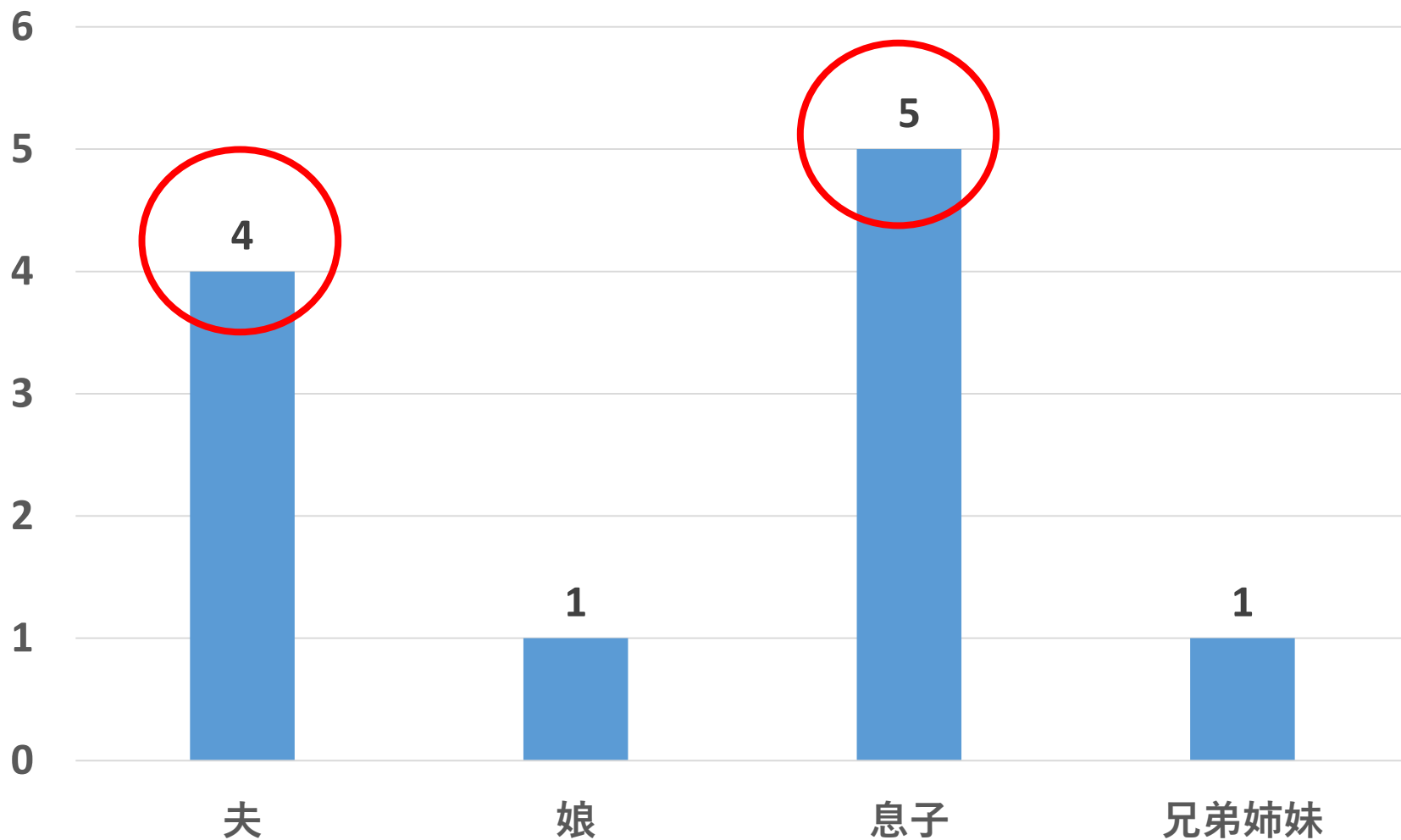


R5年度 被虐待者の年齢と性別



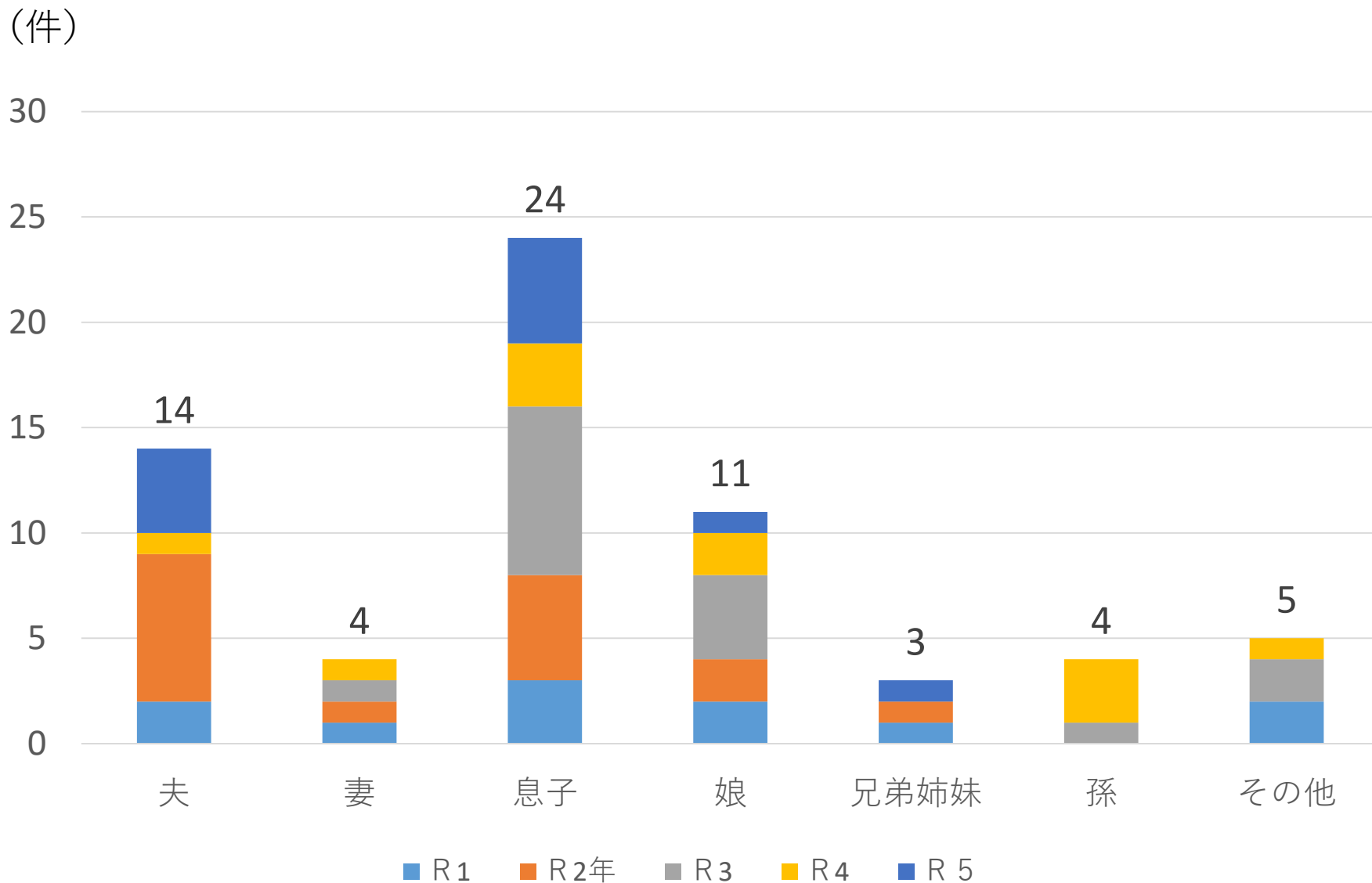
R5年度 被虐待者から見た虐待者の続柄

(件)

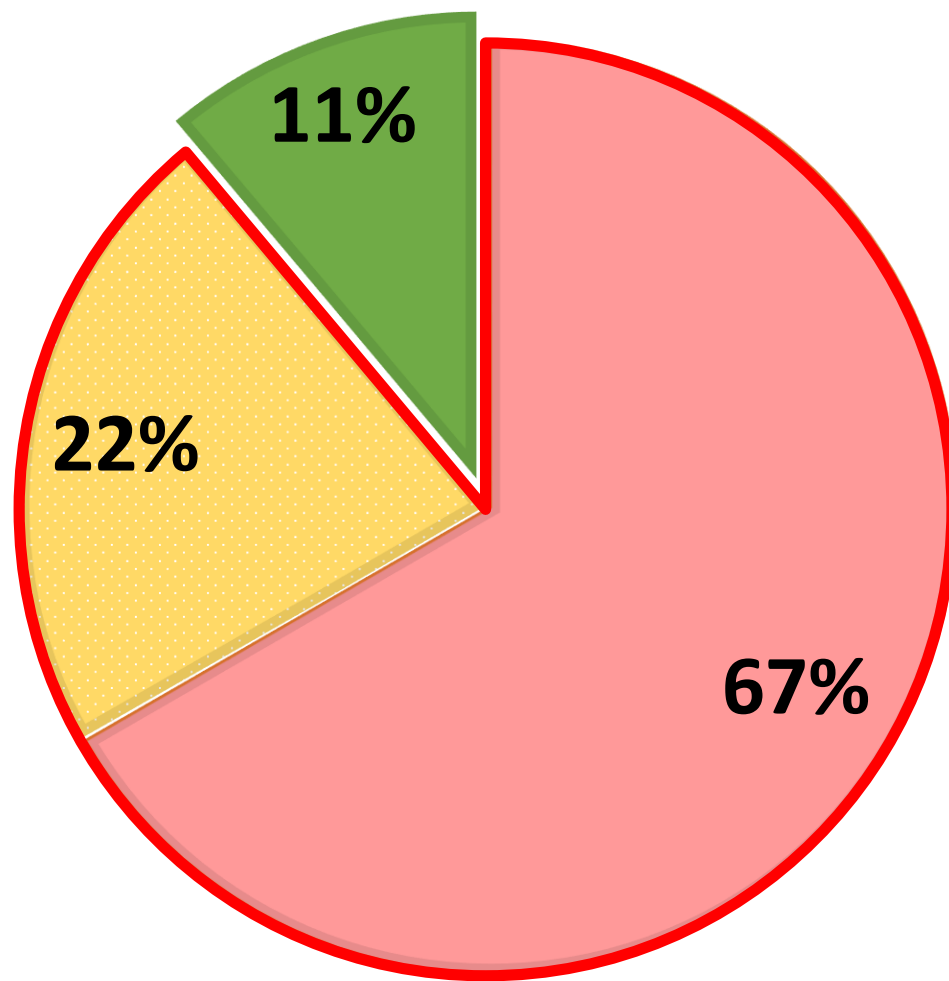


被虐待者から見た虐待者の続柄（R1～R5年度）

※複数回答



R5年度 虐待者との同居の有無



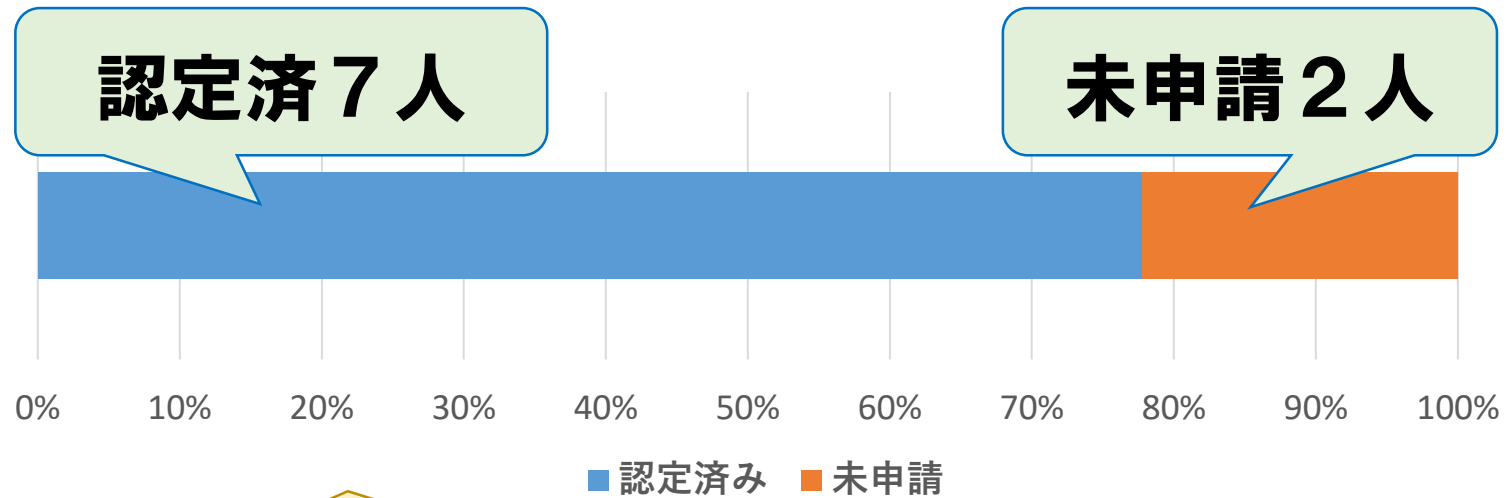
**約9割が
虐待者と同居**

■ 虐待者とのみ同居

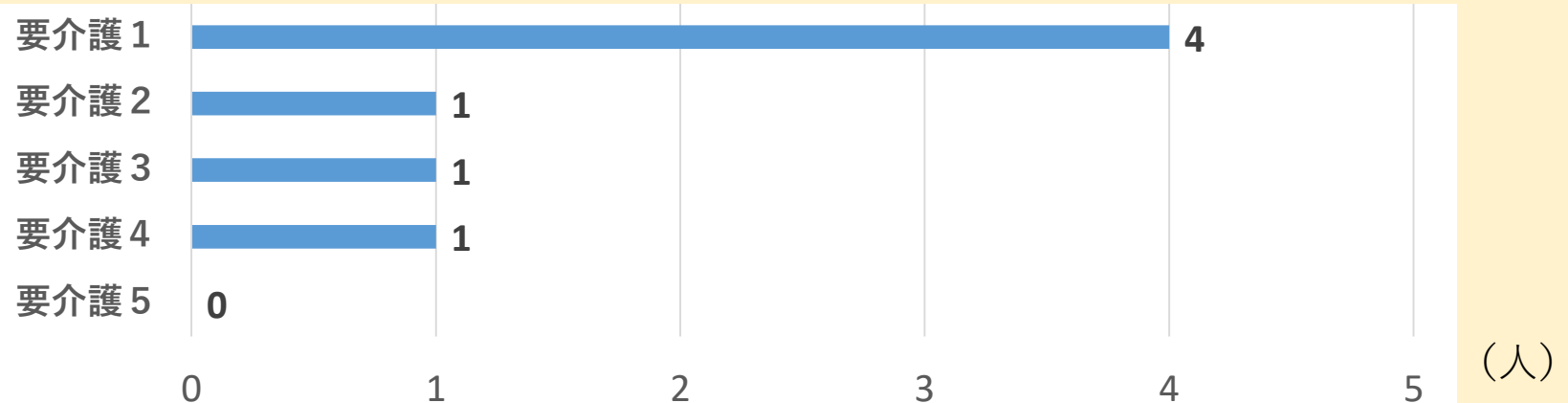
■ 虐待者及び他家族と同居

■ 虐待者と別居（独居）

R5年度 被虐待者の介護保険の申請

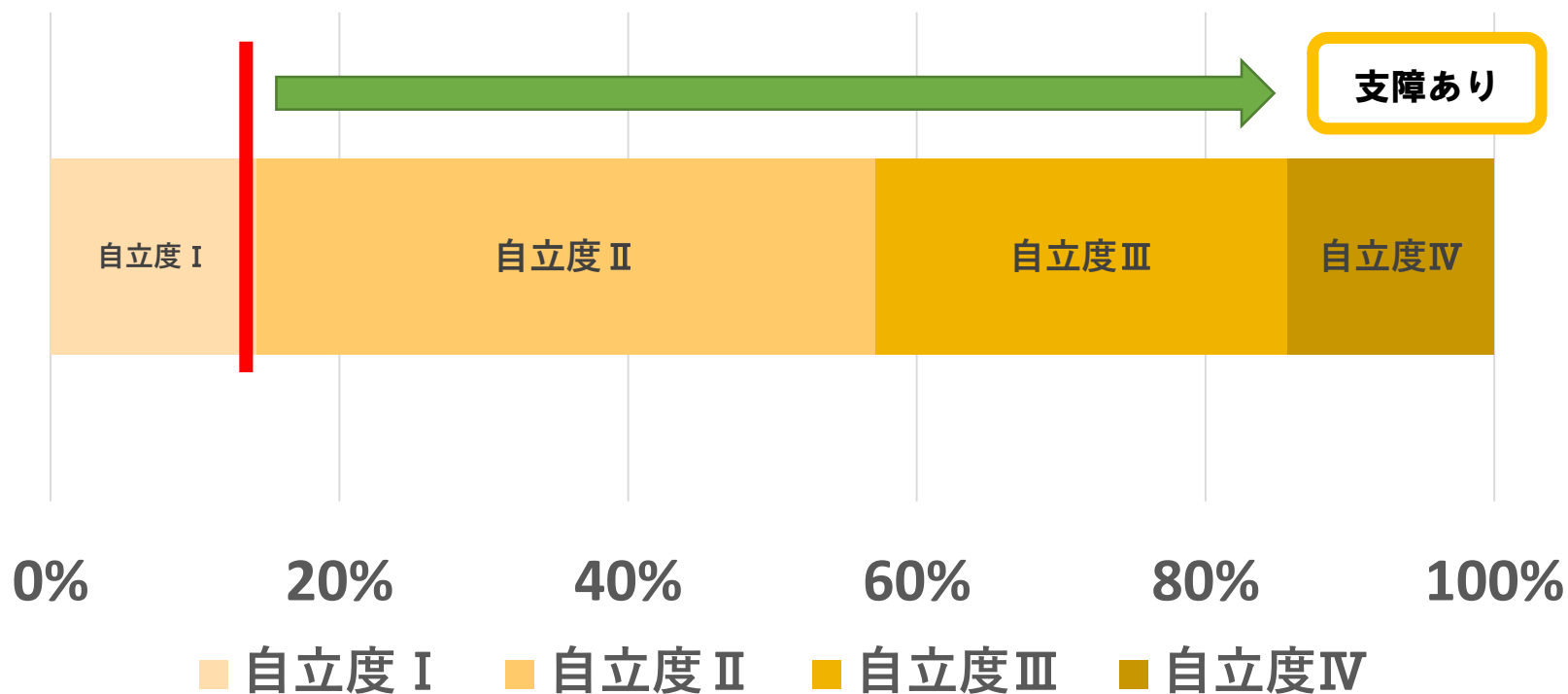


要介護度内訳

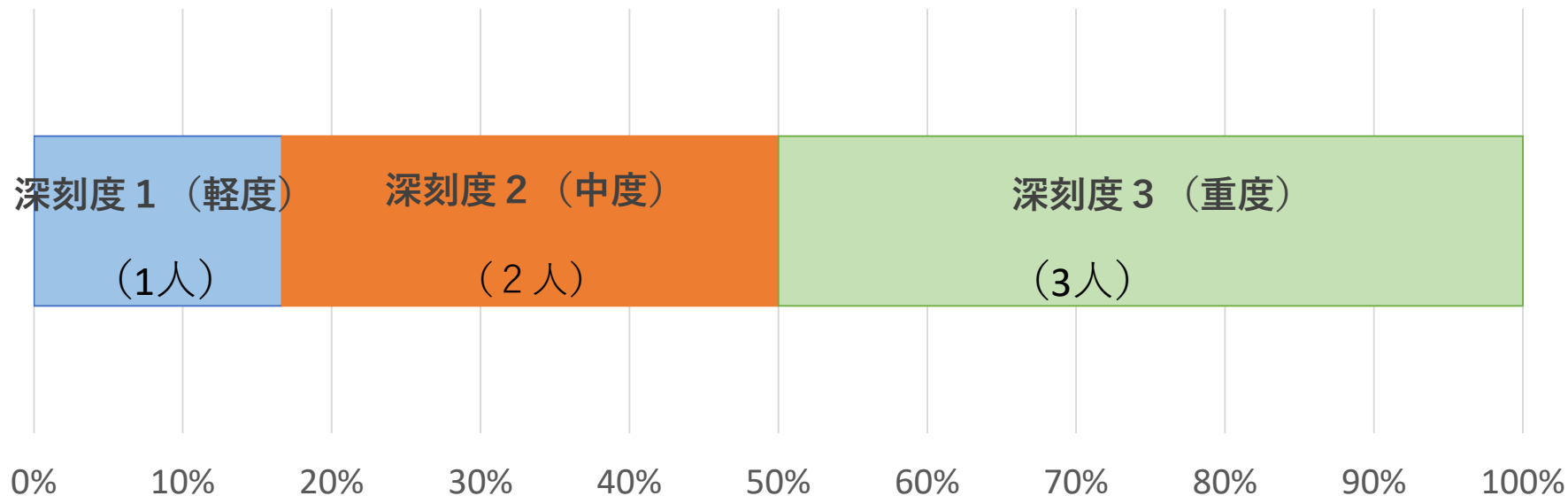


R5年度 介護認定済者の認知症日常生活自立度

86%が、日常生活に支障をきたす自立度Ⅱ以上



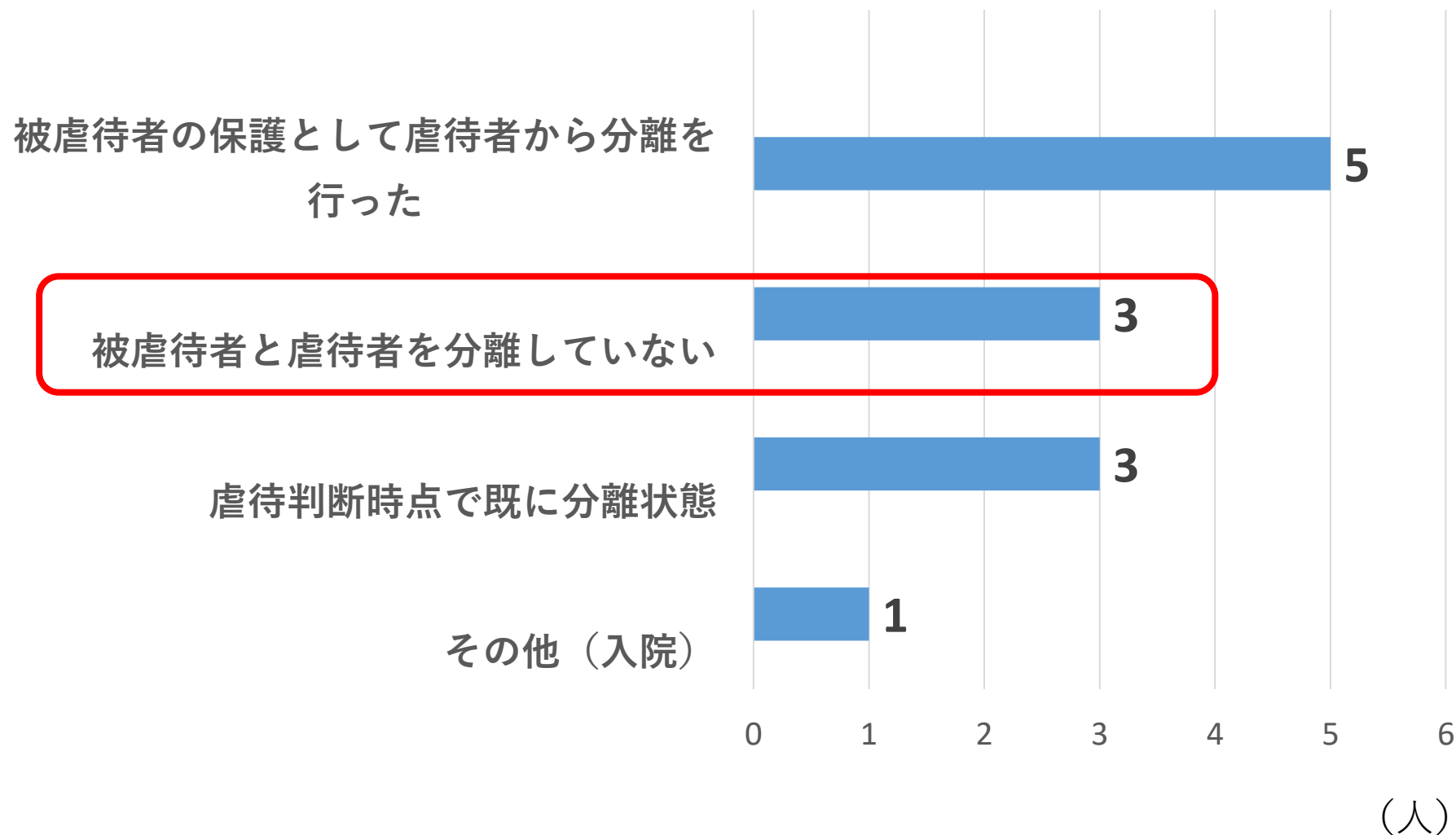
R 5年度虐待の深刻度



- 4 (最重度) : 生命の危険や心身への重篤な影響、生活の危機的状況
- 3 (重度) : 重大な健康被害が生じている、生活の継続に重大な支障が生じている
- 2 (中度) : 権利侵害行為が繰り返され、高齢者の心身への被害・影響や生活面で支障が出ている
- 1 (軽度) : 高齢者の意思を無視した行為、介護者の都合によるケア等が行われている、軽度の被害・影響が生じている

R5年度 虐待事例への対応方法

(分離の有無)



※令和5年度以前に通報受理・事実確認した虐待事例で、対応が令和5年度となった事例を含む（継続事例含み12件）

R5年度 高齢者虐待 まとめ

◎相談件数、虐待件数について

- ・ 相談件数は増加傾向。認定件数は、ほぼ横ばいで推移
- ・ 相談者は、警察からが1番多く、ケアマネ・事業所職員 家族など**多方面から相談・通報**があり、有料老人ホーム 職員からも相談があった

◎被虐待者の状況

- ・ 女性が多く、被虐待者の**約8割**が介護保険の認定を受けている
- ・ 介護認定済の**約9割の対象者**に**認知症の症状**がみられる

◎虐待者の状況

- ・ 夫・息子からの虐待が多く、**約9割が同居**

虐待の発生要因

社会環境などの要因

- ・ 周囲の人の介護に対する無関心
- ・ 希薄な近隣関係、社会からの孤立

家庭の要因

- ・ 経済的な問題
- ・ 家族関係の問題

被虐待者（高齢者）側の要因

- ・ 認知症の症状
- ・ 精神疾患（疑いを含む）、認知機能の低下
- ・ 身体的自立度の低さ
- ・ 排せつ介助の困難さ 等

虐待者（擁護者）側の要因

- ・ 介護疲れ
- ・ 介護に関する知識や情報不足
- ・ 性格の偏り、精神状態不安定
- ・ 疾病や障害
- ・ 被虐待者との虐待発生までの人間関係 等

虐待

